

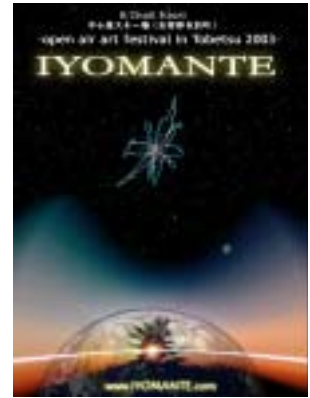


中小屋スキー場をアートで埋め尽くす壮大な芸術祭を一。

山田一博さん(太美町)

夏の中小屋スキー場を使った芸術祭を企画。スケールの大きな自然を活かし、山全体にさまざまな芸術作品をちりばめる構想を練っている。

営利を目的としない芸術の発展と人間を含めた地球規模での環境保護、自然と人間が共存していくための芸術を追求する。根室市出身。妻、子の3人暮らし。



「昨年、ニセコで野外イベントがあり、とても感動しました。自分でもこんなイベントができないかと構想を温めていました。昨年の12月には、大成寺の本堂を借りて『浄土』というコンサートを開催しました。お経とギター、ベース、ドラムを駆使した即興音楽に、コンピュータグラフィック作家が作り出す幻想的な作品が溶け合った空間を、お客さんと共有できました。

今回のイベントには会場探しから始めたのですが、中小屋スキー場に行った時に山頂から見えた景色が都会から切り離された鮮やかな空間で、ここで芸術祭ができれば素晴らしいなあと思っていました。昨年末に町教育委員会に相談に行くと、快く場所を提供してもらい感謝しています。町内外の方に声をかけ、実行委員会も組織することができました。

当別は札幌大橋から見ると風景が札幌とまったく違います。大橋から当別に向かうと、田んぼや畑が壮大に広がっていて、なんだかほっとします。この町は都会に近いけど、そこから切り離された、都会が見えない感じない場所がたくさんあって、とても気に入っています。中小屋スキー場もそんな空間のひとつで、創作意欲が湧くところだと思います。

この芸術祭のタイトルは、北海道の先住民族であるアイヌの方々の神聖なお祭りで、熊の霊を送り、大いなる自然に対して感謝する熊送り儀式からお借りし「IYOMANTE」(イヨマンテ)とつけました。さまざまな芸術作品の中で、生命のエネルギーや自然のヴァイブレーションが共鳴し、溶け合った素晴らしい創造空

間になることを願ってこのタイトルをつけました。民俗音楽、コンピュータ音楽、絵画、オブジェや映像、コンピュータグラフィックなどさまざまな分野のアーティストに集まってもらい、山全体を芸術作品でちりばめたいと思っています。そこは、どんな方でも、参加する、見る、聴くことができる空間でありたいと思っています。

また、地域の方の協力を得て、地場産物や飲食物の販売、無料キャンプ場の開放など、多彩な企画も合わせて計画しているので町外からも多くの方が訪れて、当別の素晴らしい自然を満喫してほしいですね。

このイベントをきっかけに当別と北海道の大自然から生まれる芸術家を、日本から世界に発信できるような活動を続けていきたいと思っています。」

IYOMANTE (イヨマンテ)

open air art festival in Tobetsu 2003

～自然と芸術の融合・自然と人間の調和～

日程 8月2日(土) 12時～22時
3日(日) 10時～15時

場所 当別町中小屋スキー場

入場料 3,200円(小学生以下無料)

駐車場 1,000円/1台

問合せ 当別野外芸術祭実行委員会
山田・☎6-4858

入場料等は、会場設営・運営の経費に使用されます。